

優勝

第66回県高等学校総合体育大会 陸上競技・女子走り高跳び優勝

山本 桜子さん

(葛巻高校3年・元木)



1m53を1回目で成功した山本さんの背面跳び

第66回県高等学校総合体育大会陸上競技は5月23日～26日、北上市の総合運動公園陸上競技場で行われ、女子走り高跳びに出場した山本桜子さん(葛巻高校3年)が1m53で見事優勝に輝きました。山本さんは6月14日に宮城県利府町で開かれる東北高等学校総合体育大会に出場します。

■大会を振り返って

優勝できて、とてもうれしいです。直前に行われた県春季陸上競技会では1m55をクリアし第1位でした。記録更新を狙っていたけど、1m53で終わってしまい、とても悔しいです。天候も良く、コンディションも良かったのですが、記録更新を意識しすぎて集中力が切れてしまいました。今回の競技の出来は80点ぐらいです。

■走り高跳びを始めたきっかけ
小学4年のときに町陸上記録会の走り高跳びに初めて出場しました。練習するほど記録が伸びていくのが楽しかったのを覚えています。以来、中学3年まで同記録会に出場していました。葛巻高校入学とともに陸上部に入部し、本格的に競技に取り組みました。

■東北高校総体に向けて

まずは自己ベストを更新したいです。インターハイ出場のためには、6位以内入賞が条件となっています。レベルが高い大会ですが、上位を目指して練習に励みたいと思います。

1年生のときから指導に当たっている先生から



葛巻高校陸上部
顧問 菊地 敬太先生

意識を高く持ち、真面目に練習に取り組んできた成果です。1年生のときの自己ベストは1m35。本人の努力で20cm以上記録を伸ばしています。とにかく努力する力、考える力のある生徒です。合宿や大会で、他校の選手をよく観察し、自分のモノにしてきました。インターハイ出場も夢ではありません。1m60以上を目標に東北大会まで練習に取り組んでいきたいと思います。



第15回葛巻町植樹祭

豊かな森林をみんなでも守ろう

第15回町植樹祭(町産業振興協議会主催)は5月17日、東京都の小岩金網(株)が袖山地区に所有している「こいわの森」で開かれ、葛巻地区森林愛護少年団(小屋瀬)や町内の小学校、企業の森関係者、町民など約370人が参加し、森林を守り育てる意識を高めました。



1 植樹作業終了後の記念撮影。全校児童7人で参加した吉ヶ沢小の児童ら
2 植樹会場の「こいわの森」中央ゲート付近
3 「元気に育ってね」と願いを込めながら植樹する葛巻保育園の園児
4 スコップを使って丁寧に土をかぶせる江刈小の児童

開会式で鈴木重男町長は「植樹祭を通じて町の魅力を再認識し、町外に情報発信することで、より一層の交流・定住人口の増加につなげていきたい」とあいさつしました。開会式のあと、県企業局提供のオオヤマザクラ20本、ベニヤマザクラ50本、ツツジ60本をこいわの森の中央ゲート付近に植樹。今年も、ニホンミツバチを増やしていこうと花の咲く樹木を選定しました。参加者は、肌寒い天候と硬い土に苦戦しながらも、スコップやトウガを使って土を掘り、苗木に土や葉をしっかりとかぶせました。

町内9カ所目の企業の森

ホームマックの森

北海道札幌市に本社を置き、ホームセンターチェーンを展開しているホームマック(株)が、会社の掲げる環境保全の一環として、町内に9カ所目となる企業の森を開設しました。

この企業の森は、土地所有者の小岩金網(株)、町森林組合、ホームマック(株)の3者による「里山再生に関わる相互サポート協定」の締結により開設されたもの。ホームマック(株)が「こいわの森」内の土地1㏊を5年間借用し、今後、植樹活動などを通じて森づくりの取り組みを進めます。

この協定に基づき「第1回ホームマックの森植樹会」が5月15日に行われ、従業員ら約40人が参加。コナラ270本の植樹に取り組み、約1時間の作業に汗を流しました。

